

## 第5節 保健・医療

### 現状と課題

わが国は世界有数の長寿国となっていますが、一方では、疾病全体に占めるがん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の割合が増加しており、これに伴って寝たきりや認知症など援護を必要とする人の増加が深刻な社会問題となっています。

本町では、「健康たわらもと21」を策定し、住民一人ひとりの豊かな人生を実現することを通じて、町全体を元気あふれる豊かな地域として発展させることを目的として、健康づくりを総合的に推進しています。

また、地域での取り組みについては、「田原本町食生活改善推進員」「田原本町健康づくり推進員協議会」「田原本町健康体操健康づくり推進員」が連携し、イベント等を実施しています。

保健事業においては、子どもから高齢者までライフステージに応じた健診（検診）・相談・教育などの事業を実施し、疾病の早期発見・指導に努めています。今後は、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査はもとより、健康の増進に重点を置いた対策を推進するとともに、生活習慣の改善から介護予防へとつなぐ、住民の主体的な健康づくりを支援する体制を整備する必要があります。

また、高齢化の急速な進展に対応して、高齢者が寝たきり、認知症などの要介護状態にならないよう、保健・医療・福祉の連携がとれた介護予防の必要性がますます高まっています。

本町の医療機関については、17の医院と14の歯科医院、総合病院として「国保中央病院」があり、医療機関の数としては比較的充実しています。緊急医療については、「国保中央病院」で二次医療を行っており、三次救急医療施設は町内にないため、「奈良県立医科大学付属病院」を位置づけ、広域の医療機関との連携体制を図っていますが、今後休日・夜間の緊急医療体制や小児救急医療体制のさらなる充実が必要となっています。

保健・医療

各種保健事業の展開

地域住民の主体的な健康づくりの支援

救急医療体制の整備

## 施 策

## 1. 各種保健事業の展開

## ①成人保健

「健康たわらもと21」の推進を図るとともに、がん死亡を減少させる検診、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の有病者・予備軍の減少、糖尿病に重点をおいた保健事業を進めるとともに、生活習慣病改善サービスの再構築を図ります。また、常に地域の高齢者対策の全体を見据え、地域の特성에応じた取り組みを進めながら、生活習慣病予防から介護予防・地域支援事業へとつなぐ保健事業の展開を図ります。

一方、平成20年度から医療保険者に健診・保健指導が義務づけられることから、効果的な保健事業が行えるよう、検討を進めます。

## ②母子保健

子育ての不安や子どもへの虐待などの早期発見・早期対応が可能となるよう、取り組みや支援を行います。そのため、保健・福祉・教育・地域との情報の一本化をより一層推進し、関係機関における虐待に関する取り組みを推進します。

また、発達障害児に対する早期発見、支援の充実をめざすとともに、子育てサークルの主体的な活動を支援するなど、田原本町母子保健計画の推進を図ります。

## ③精神保健

地域で生活するにあたり、不安を抱える精神障害者に対し、適切なサービスを利用できるよう、訪問・相談などを通じて支援を行います。また、障害者自立支援法の施行により、障害者の状態やニーズに応じた支援が効率的に行われるよう、関係機関との調整を行います。



## 2. 地域住民の主体的な健康づくりの支援

地域の健康づくり推進員による健康づくりの実践、普及啓発を支援するとともに、自主的な健康づくりグループ等の活動を支援し、団塊世代が「自助・共助・公助」に基づいた地域づくりの一端を担うような仲間づくりや、役割づくりに参加できる取り組みを進めます。

## 3. 救急医療体制の整備

### ①一次医療体制の整備

一次救急医療としての磯城休日応急診療所の充実を図ります。また、小児救急医療の整備を県に要望します。

### ②二次・三次医療体制の整備

二次救急としての桜井地区病院群輪番制病院運営事業や、小児科二次救急輪番制の充実、さらに小児救急体制の確立や拠点づくりを県に要望していきます。

また、三次救急医療施設としては、県内にある三次救急施設を二次救急体制と連携しながら対応します。



